

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

2003 年 7 月 14 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

まずは、**5801 古河電工**の日足チャートをご覧ください。下げ幅に注目してみます。

5月16日高値272円から5月20日安値245円、下げ幅は**27円**。ここから切り返して6月2日高値315円から6月16日安値287円、下げ幅**28円**。

誤差が1円あるものの、前回の調整幅がここで繰り返されているわけです。つまり、前回の調整幅が繰り返されたことにより、下値メドとなる計算値に届いたといえます。こうした理論を**N反動**といいます。

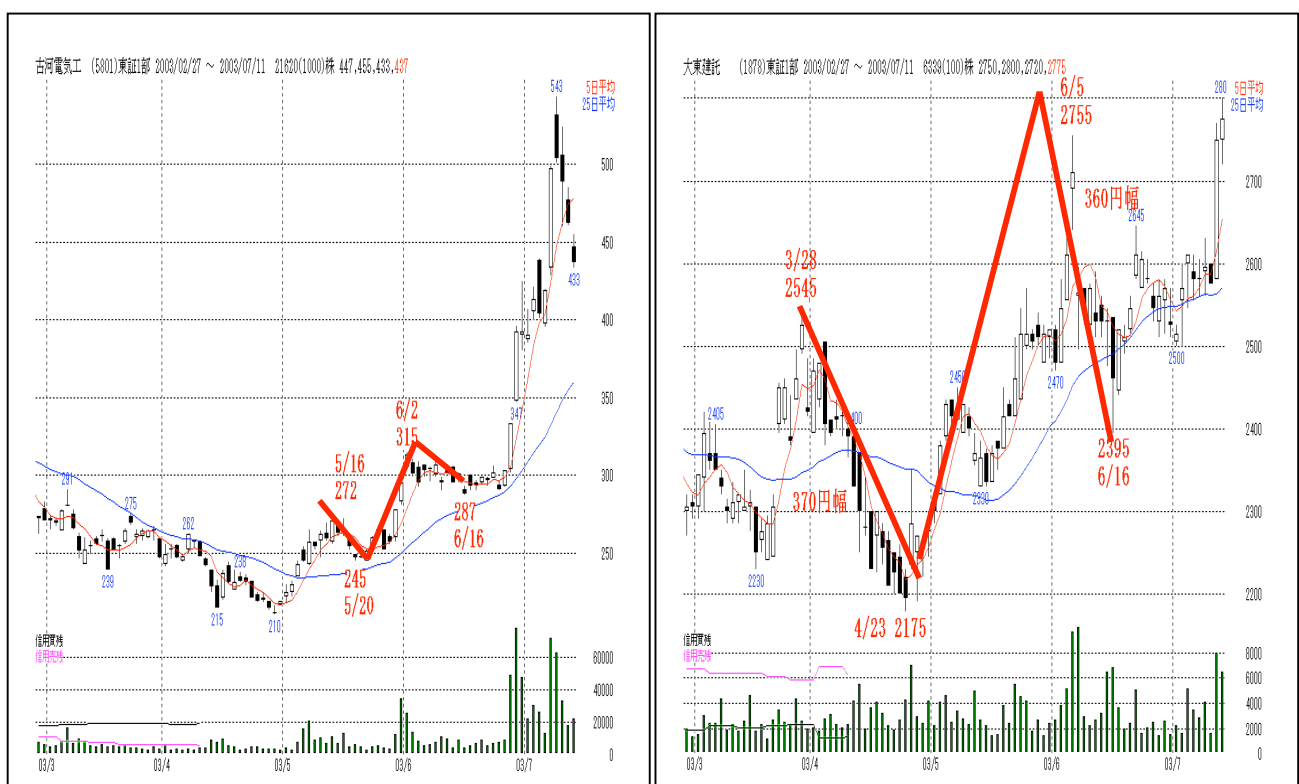
続いて、**1878 大東建託**の日足チャートをご覧ください。先ほどと波動の取り方が違いますが、(古河電工は底をつけたあとの波動を基準にしているのに対し、大東建託は底をつける前の波動を基準にしている) これも前回の調整幅が繰り返されて底が入った例です。2つともに**N計算値**の応用なのです。

この件に関するお問い合わせは 03-3669-5022 質問メールは dekioka@hikarikeizai.co.jp

毎日更新、旬な銘柄を選んで分かりやすく解説する、無料テレフォンサービスの「人気株情報」 03-3669-5552 で放送中、是非お聞きください。

《古河電工》日足

《大東建託》日足



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。